

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立朝日西小学校	学校No.	37
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 目 標：実践活動を通して、社会福祉への理解と関心を深め、進んで地域社会に奉仕しようとする心を育てる。・ 計 画：学校内の環境整備を行い、美化活動、園芸栽培活動に取り組ませる。・ 推進体制：校内に社会福祉部を組織し、計画的に実践する。 <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 登下校の見守りやパトロール、読み聞かせや本の修繕、裁縫・調理実習の補助、ホタルの飼育や園芸関係など、日ごろから多くの地域の方に児童を含め、学校はお世話になっている。こういったボランティアの皆さんに感謝の気持ちをつたえるために、感謝の会を開いたり、行事に招待したり、お礼の手紙を書いたりした。・ 福祉実践教室の車椅子体験や地域の方も参加された避難所開設訓練等に使用した車いすの修理・整備を行った。福祉実践教室では、事故などで誰しも障害を負う可能性があり、いつ車椅子が必要になるか分からないと教わり、校内でいつでも車椅子が使用できる体制を整えた。 <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本校は、児童数が少なく、地域のつながりや学年を超えてのつながりが深く、高学年が低学年の面倒を当然のように見ている。福祉実践教室を経て、5年生児童の中で「福祉」とはいかないまでも、低学年児童への「思いやり」の気持ちはより強くなり、行動に移すことのできる児童が増えたように感じる。・ 昨年度に設置した「おもいやり駐車場」の使い方が思った成果を得られず、福祉教育は児童だけでなく、学校を訪れる大人にも必要だと感じている。児童を通してや情報ツールを用いて、駐車場の件だけでなく、福祉について幅広く情宣、周知する方法を考えていきたい。			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立開明小学校	学校N o.	38
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標 高齢者や障害のある方との交流を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを実践することで、福祉に対する意識を高める。</p> <p>(2) 計画 ○5年生児童を対象に、福祉実践教室に取り組む。さらに、総合的な学習の時間において、福祉についての学習に取り組む。 ○5・6年生児童を対象に、「開明地区ねたきり老人・ひとりぐらし老人あて愛の年賀状送付事業」に取り組む。 ○全校で、6年生に感謝の気持ちを伝えるための「感謝の気持ちを伝えよう 一人一鉢運動」に取り組む。 ○全校で、赤い羽根募金・緑の募金活動に取り組む。</p> <p>(3) 推進体制 該当学年・児童会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方方とも連携して取り組む。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 今年度、福祉実践教室では、5年生児童が、手話・点字の講習、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験の活動を5月に行った。その後、これらの経験を基に、総合的な学習の時間において、自分の設定した学習課題を調査・追究する学習を進め、社会福祉への関心を高めることができた。また、11月の学校公開日の学習発表会において、保護者・地域の方々の前で、学習したことを発表した。 さらに、11月に校内において、児童会が中心となって、赤い羽根共同募金に募金活動に取り組んだ。また、5・6年生児童が分担して、開明地区の高齢者に向けて相手が喜ぶようにと心をこめて年賀状を作成した。この取り組みで、地域の高齢者の数がとても多いことを知り、改めて福祉の必要性とその大切さを感じていた。他にも、11月末から卒業する6年生に感謝の思いを日々の手入れに込めて、「感謝の気持ちを伝えよう 一人一鉢運動」に取り組み、卒業式場を色とりどりの花でいっぱいにした。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 それぞれの取り組みの意義をおさえての指導することにより、児童の福祉への意識は高まるとともに、理解も深まっている。今後も、上記の取り組みの内容を工夫し、児童の福祉の心をさらに高めることはもちろんのこと、日常生活の中でも相手を思いやる心をもとにしたよりよい人間関係づくりを進めていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2025 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立大徳小学校	学校No.	39
-------	-----------	-------	----

1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

(1) 目標
高齢者や障害のある方との交流活動やふれあいの機会を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを調査・追究することで、福祉実践力を養う。

(2) 計画

- 全校で、緑の募金活動に取り組む。
- 4年生児童を対象に、「福祉実践教室」に取り組む。あわせて、1学期の総合的な学習の時間において、福祉についての学習を進める。
- 2～6年生の児童を対象に、大徳・朝日支会のそれぞれの「愛の年賀状送付事業」に取り組む。
- 3・4年生児童を主体として、「一人一鉢運動」に取り組む。
- 登下校でお世話になっている見守り隊の方々などに感謝の気持ちを伝える。

(3) 推進体制
該当学年・運営委員会・福祉環境委員会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方々とも連携して推進する。

2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

6月11日（水）に、4年生の児童が「福祉実践教室」を受講することができた。貴重な体験により、大切なことを学ぶ機会となった。

11月中に、3年生の児童が学級ごとに分担して、相手が喜ぶようにと心をこめて、朝日地区の高齢者にあてた年賀状を約30枚作成した。取り組みを通して、地域の高齢者の数の多さを知り、改めて福祉への関心を高めていた。

11月から3月にわたり、3・4年生の児童を主体として「一人一鉢運動」に取り組んだ。成長したパンジーの鉢植えは、卒業式の会場を彩った。卒業式には3・4年生は参加しなかったため、在校生の思いが厚く込められたものとなった。今後、4月の入学式の会場を彩る。

2月には、日頃より登下校の安全を見守っていただける「見守り隊」の皆様、読み聞かせボランティアの皆様、そして米づくりでたいへんお世話になっているボランティアの皆様を学校にお招きし、「感謝の会」を催した。児童は日ごろの感謝の気持ちを表したメッセージカードを作成し、お渡しするとともに、全校で合唱し、感謝の気持ちを伝えた。

3. 福祉教育の成果と今後の課題

それぞれの取り組みの意義をおさえての指導により、児童の福祉への意識は高まり、理解が深まった。次年度でも、取り組みの一層の充実を図っていく。さらに、日常生活の中でも、相手を思いやる心をもとにした、よりよい人間関係づくりを進めさせていきたい。

2026年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立黒田小学校	学校No.	40
-------	-----------	-------	----

1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

（1）目標「人の気持ちを理解し、思いやりを大切にする子の育成」

- ・教 科…自分の考えをもち、相手の気持ちや立場を理解する力を育てる指導法の研究
- ・道 徳…人との関わりに関することに重点を置いた道徳や命の教育の工夫
- ・特別活動…心のふれあいを大切にした福祉体験活動

（2）計画

- ・福祉実践教室の実施 （12月…5年生）
- ・黒田小サロンでのふれあい活動（通年…1・2年生）
- ・人権教室の実施 （12月…全学年）

（3）推進体制

人権・福祉係を中心に企画し、運営は全職員で実施する。

2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

（1）福祉実践教室

- ・実施日 12月16日（火）
- ・実施内容 車いす・ガイドヘルプ・点字の体験

（2）黒田小サロンでの活動

- ・実施期間 毎月第3火曜日の午前中
- ・実施内容 いきいき体操・ミニコンサート・講演会

（3）人権教室

- ・実施日 12月4日（木）
- ・実施内容

人権擁護委員会の方による講話、いじめ防止に関するDVD視聴

（4）担任による道徳/各教科での授業/生活指導



【福祉実践教室での様子】

3. 福祉教育の成果と今後の課題

福祉実践教室では、車いす・ガイドヘルプ・点字を体験し、障害のある方が生活する上での苦労や工夫や、どのような気持ちで生活されているかを知ることができた。福祉実践教室での体験から、福祉についてさらに調べたり、自分の住む町や施設の不便さに気づいたりするなど興味・関心を深めた児童もいた。3月には、多目的トイレが設置され、車いすで生活している児童や排せつが困難な児童も、スムーズにトイレを使用することができるようになった。

本校は校内でサロンが実施されている特色を生かし、児童と地域の高齢者の方々とふれあう活動を行った。高齢者の方々からは本当に楽しみにしているという声が聞かれ、子どもたちにとって自分たちがとても大切にされている存在であるという思いをもつことができる時間になっているのではないかと思う。

今後も、自分も他者も大切に、優しく思いやりのある児童の育成に努めていきたい。

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立木曾川西小学校	学校No.	41
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害のある人との交流を通して、相手を尊重し思いやる心を育てる。 ・社会福祉に対する理解と関心を高めることにより、高齢の方や障害のある方等と共生できる、思いやりのある行動が取れるようにする。 <p>(2) 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉実践教室（5年） ・募金活動（児童会） ・人権週間（児童会） <p>(3) 推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間、道徳、学級活動において全職員で実施する。 ・児童会活動を通し、全校体制で取り組む。 <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>○福祉実践教室（5月）</p> <p>5年生が、点字、手話、車いすの体験活動を行った。 また、道徳の授業で社会福祉についての考えを深めた。</p> <p>○赤い羽根の募金活動（11月）</p> <p>児童会役員が募金への協力を呼び掛け、全校児童で募金活動に取り組んだ。</p> <p>○人権週間での取り組み（6、11月）</p> <p>人権週間における全校集会では、人権について考える劇を見たり、校長講話を聞いたりした。また、学級でも、ビデオを視聴したり、道徳の授業を通して人権を守る取り組みを行ったりした。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>それぞれの発達段階に応じた活動を取り入れることで、児童の福祉に対する意識が高まった。総合的な学習の時間を利用して、福祉に関する事前の調べ学習を行ったため、児童の理解が深まったのではないかと考える。また、福祉実践教室で実際に体験したことで、障害のある方に対する理解と接し方を学習することができた。すべての人に対して「思いやりの心」をもって接していこうという気持ちを育てることができたと感じている。</p> <p>今後、これらの活動で学んだことを、家庭や地域で実践できるように、児童の意識を高めていけたらと考える。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立木曾川東小学校	学校No.	42
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 本校の福祉教育の目標</p> <p>① 福祉に対する理解と関心を高め、進んで人や社会に関わろうとする意識を高める。</p> <p>② だれに対しても優しく、思いやりのある態度で接し、自他ともに生命を尊重しようとする意識を高める。</p> <p>(2) 実践方法</p> <p>① 総合的な学習の時間や、道徳、学級活動、各教科との結びつきを考慮する。</p> <p>② 体験的な学習を取り入れる。</p> <p>(3) 計画</p> <p>・福祉実践教室 ・福祉についての調べ学習</p> <p>・募金活動 ・使用済み切手回収運動</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>【手話】5年生 簡単な手話や空書き、ジェスチャーなどの意思疎通の仕方を学び、理解を深めた。</p> <p>【視覚障害者ガイドヘルプ体験】5年生 お年寄りや目の見えない人の気持ちを知るために、器具をつけて校内を歩く体験をした。</p> <p>【点字】5年生 点字を打てる道具を使って点字を打って、点字の仕組みや必要性を学んだ。</p> <p>【車いす体験】5年生 車いすに乗って体育館につくられたコースを進み、車いすの大変さを体験した。</p> <p>【福祉についての調べ学習】5年生 国語の授業「みんなが使いやすいデザイン」の単元で、町にあるユニバーサルデザインや、そのよさについて、インターネットなどを使って調べたことをまとめた。</p> <p>【募金活動・使用済み切手回収運動】全校 募金は児童会が呼びかけ、使用済み切手回収はPTAと協力して、全校で取り組んだ。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>5年生の福祉実践教室では、実際に体験することにより、障害のある人の願いや大変さが分かり、理解を深めることができた。全校で取り組んでいる募金活動では、児童会が主体的に計画することで、自分たちの手で環境をよりよくしていこうという意識をもつことができた。</p> <p>今後も、福祉に対する理解を深め、日々の生活の中で誰に対しても、優しく、思いやりをもって接する態度が育まれるよう支援していきたい。さらには道徳、学級活動、各教科にも積極的に福祉に関わる学習を取り入れていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。